

柳城



発行所
名古屋柳城短期大学

住所
名古屋市昭和区

明月町2-54

発行者
田浦武雄

専攻科

新しい年度を迎えて

学長 田浦武雄

柳城学院は、「愛をもって仕えよ」の建学の精神を基に、幼児教育百年余の伝統をもっています。

国際化、情報化、少子化の時

代の動向に対応し、より優れた保有者を養成するために、一九九七（平成九）年度より、専攻科保育専攻（定員一五名）を設けました。また高齢化社会に対処して、優れた介護福祉士を養成するために、一九九八（平成一〇）年度より、介護福祉専攻（定員三十名）を設けました。

去る三月には両専攻とも、二回目の卒業生を送り出しました。

保育専攻は、学位授与機構が認めた二年課程の専攻科で、所定の科目と単位（四年制大学での一六単位を含む）を履修することにより、教育学士と幼稚園一種免許状を取得することができます。卒業生の中には、大学院に入学した方もあります。

近年都市によっては公立幼稚園教諭採用のさい、一種免許状を要請する動きがありますので、本学も四年制大学に伍していくように努力しています。

優れた教員となるには経験も大事ですが、幼稚園児の親たちの学歴が高くなっており、それらの人々の要求や批判に対応していくには、すくなくとも教育学士としての実力をもつことが望ましいことは確かです。

介護福祉専攻では、保育士の資格を持つ者が、一年の課程を履修することにより、国家試験を受けることなく介護福祉士の資格を取得することができ、高齢化社会への貢献が大いに期待されます。

これまでの卒業生は、何れも介護福祉施設等で、重要な役割を果たしています。「愛をもって仕えよ」の建学の精神は、まさに社会福祉に携わる者すべてに

共通する精神です。とりわけ介護福祉においては、高齢者に直接向いあつて、介護する厳しい局面にたたされる場合も多く、豊かな人間性と隣人愛の精神を培うことが望ましいと思われま

す。このことは、これからの介護福祉士の育成にとつて最も緊要なことです。

専攻科へ

の道は開かれており、わが国の幼児教育や介護福祉の明日をになう人々が多数出てくることを期待されます。

本学在学中の方、進路をきめるさいに、専攻科も選択肢の中に入れることを期待します。



保育専攻科学生と教師たち

介護福祉専攻科を卒業して

二回生 新美 幸子

3月に卒業して私は、特別養護老人ホームに勤めています。

5月中旬に開設された新しい施設で50名の介護を行っています。

介護福祉専攻科での1年は介護の理論と技術を学び、実習で実践して身に付けることができました。また様々な年齢の仲間と過ごすことができました。

同じ目的を持つ仲間の意見が刺激ある充実した学生生活だったと思っています。特に3月に経験したカナダ研修も思い出深い良い経験になりました。

実際に働きだして、利用者の問題や介護について悩むことがあります。柳城短大の先生や仲間の助言が私にとって支えに



介護実習風景（本学）

なっています。いつまでも仲間たちと交流を続けていきたいです。介護福祉専攻科で学ぶことができて本当に良かったと思います。

私の働いている施設は、新しい施設ということで、入職して1ヵ月半は研修があり、職員全員で介護の基礎を学び、確認し合う時間がありました。最初は9名の入所者でスタートし業務の流れ、職員の動き、環境整備と少しずつ行えていたため入所者と落ち着いた時間を過ごしていました。また職員の雰囲気も明るく、職員全員でこの施設を良くしていこうという心構えが現われています。

そして徐々に入所者が増え、今、軌道に乗りつつあります。業務は忙しくてつらい時もありますが、職場の人間関係が良いので頑張ることができます。上司も若い人の意見を取り入れようと話を聞いて下さる方なのでやりがいがあります。そして、働いていて、入所者にとってどのような介護が望ましいのか考察し、実践に結びつけようと試み

特集 専攻科

るにも実際に行うケアワーカーや他職種の視点のズレができています。そこで重要なのは入所者のより良い介護ができるような話し合いを密にしそれぞれの職種の歩み寄りが大切だと感じ、それも職場の雰囲気や人間関係は重要になってくると感じています。

今の私は業務をこなすのに一杯で余裕がなくなっています。要領よく業務を行いながら、なおかつ、入所者との関わりをゆつたりとした気持ちで行えるような介護者になれるよう努力したいです。常に入所者の立場に立てる介護者を目指したいです。これからも頑張ります。

保育専攻科に学んで

一回生 立山 真理子

名古屋柳城短期大学保育専攻科を修了し、就職して早や2年現在、公立保育園で年少組の担任をしています。「蛙の子は蛙」と言いますように、現役保育士である母を見て育ち、いつも生き生きとしているのは保育士というやりがいのある仕事をして

いるからではないかと私も保育の道を目指してきました。

しかし短期大学の過密な授業や実習でゆつくり保育とは何か、保育士として必要な資質は何か改めて顧みる暇がありませんでした。就職か進学が迷っている時、この保育専攻科を知ったのです。第一期保育専攻科は、現場経験者と進学者と年齢も経験も多彩な顔ぶれでした。

小人数でのディスカッション形式の授業は理論はもちろん、社会背景と絡んだ保育現場のリアルタイムな情報を題材とし、現場経験者の具体的かつ現実的意見と進学者の若々しい発想でより深く、多面的な角度から学ぶことができました。また他大学の授業を聴講したことにより、新たな発見や人との出会いがあ



子どもたちと

りました。

複雑な社会の中で求められている保育士とは、流動的な社会背景を確実にとらえた柔軟な思考と発想力ではないかと思っています。

また、教育界は幼稚園教育要領、保育所保育指針の改訂により、新たな変革期を迎え、保育の根本的意味が問われています。何が子どもにとって望ましいか、子どもの姿を理論づけ納得させることができる知識と教養、実態を掘り下げて、なぜなのかと考える力が必要であると思います。技術、理論バランス良く考える、そういった意味でも、保育専攻科は実践と理論を結びつけた思想を養う唯一の機関であると思っています。

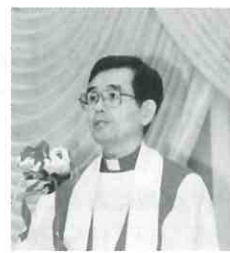
毎日、元気な子どもたちと生きている中で、養護、教育はもちろんですが、保護者との連携、指導も保育士の仕事として必要であると痛感します。

経験年数は浅いですが、保育への思い、ねらいを理解、協力してもらえよう努力し、子どもと共に日々成長し、歩んでいけるようこれからもがんばりたいと思います。

経 歴

- 1966年 聖公会神学院卒業
 1969年 司祭叙任
 1970年 立教大学大学院文学研究科修士課程卒業
 1971-1972年 エピスコパル神学校(米国マサチューセッツ州ケンブリッジ) 留学
 1976年 立教大学大学院文学研究科博士課程修了
 日本聖公会北関東教区諸教会を牧会
 立教大学文学部キリスト教学科講師(ギリシア語、新約聖書)
 聖公会神学院校長(新約聖書学、礼拝学)
 ウィリアムス神学館館長(新約聖書学、礼拝学)
 1998年 主教叙任、日本聖公会中部教区主教
 (著書)『マラナ・タ』(日本聖公会京都教区)、『聖公会の礼拝と祈祷書』(編著、聖公会出版)、『新共同訳 旧約聖書注解Ⅲ・続編注解』(共著、日本基督教団出版局)、『主日の御言葉』(聖公会出版)
 (訳書) R. H. フラー・P. パーキンズ『キリストとは誰かー福音書のキリスト論と現代の信仰』(日本基督教団出版局)、J. L. メイズ編『ハーバー聖書注解』(共訳・教文館)、L. フィッシャー編『神の霊 キリストの霊ー「フィリオクエ」論争についてのエキュメニカルな省察ー』(共訳・一麦出版社)

新理事長に森紀旦主教就任



本年四月より、理事長職を兼務されていた現田浦武雄学長に代わり、本学理事の森紀旦主教が理事長に就任された。

森理事長は、一九九八年より日本聖公会中部教区(愛知・岐阜)

阜・長野・新潟) 主教として、各教会・施設の責任者として又霊的指導者として活躍である。森主教は、ご経歴からもわかるように深い学識にもとづき、平易な表現により聖書の説き明かしをされ、聴く者に豊かな恵みの世界をさし示して下さい。様々な厳しい状況の中にある本学のためご尽力頂けることを心から感謝申し上げます。

二〇〇〇年一・二年生合同ゼミナール

4月21日22日の両日、一泊二日で本学2回目の一・二年生合同ゼミナール「ふれあいin合歓の郷」が実施された。

昨年度は伊良湖岬で実施されたのであるが、今年度は三重県志摩郡浜島町にある本格的リゾートホテル「合歓の郷」での実施であった。

学生たちは、特に二年生の諸君だと思いがその日の来るのを待ち望んでいたようであった。一年生にとっては少々不安を感じていたことであろう。

合同ゼミナールの目的は例年と同じように一年生は入学間もない学生生活が充実し、新しい友人との交流を深め今後の学生生活への抱負や不安を語り合い、美しい自然に触れ心豊かな時を過ごす。二年生は残り一年間の学生生活をより充実させ、目的を共有する仲間と将来の夢を語り合い、絆を深め、魅力ある社会人となるために努力する。そして一・二年生共通の目的としては、学年・クラスを超えて交流し、新たな友達との出会い、そして友情を深め合う。以上、かなり盛り沢山の目的を掲げている。

充実したものになりたいという気持ちで二年生と学生生活委員会との間に起こっていた。このゼミナールのメインともいえる講演は本学卒業生で元足利短大教授の井上初代先生にお願いした。先生には保育士の資質についてとても貴重な内容深い講演をしていただいた。新入生にも十分理解できる話術で学生のみならず教職員までも深い感銘を受けたのであった。もう一つは、私立作業所「ほつとハウス」勤務のピアノスト越智章仁氏の公演であった。氏はダウン症であるのだがピアノ演奏に才能をみだし自作の曲を含め多くの演奏を学生たちに披露してくれた。母親の智子さんは今まで章仁氏との二人三脚の人生を音楽に交えながら話してくださった。この公演は学生の心に深い感動を与えた事は確かである。



より検討と活動を始めた。その活動内容として、一日目の夜には音楽ホールでのクラブ発表、予想外の盛り上がりにも楽しい時を過ごすことができた。二日目の交流会は青空のもとでのクラス対抗運動会であった。インストラクターのもとでの企画であったがクラスの出し物等年齢と時間を忘れて多に楽しんだ。時間が短かすぎたのが残念であった。このように二日間盛り沢山に充実した時を学年、教職員の枠を超えて楽しく過ごすことが出来、本当に感謝している。来年はどうなるのか今から楽しみである。

学生生活委員会

委員長 野々垣文成

歴史資料室だより

～カナダ時代のヤング先生（その1）～

昨年のカナダ現地調査により、創設者マーガレット・ヤング先生についていくつかのことが明らかになりました。

その一つは、第一回の調査（1998年）で確証が取れなかったヤング先生の働かれた幼稚園、Aylmer町幼稚園についてです。当時、Aylmer Public School（現在McGregor Public School）として、小学校から高校までが一つになっており、その公立学校の中にはじめて幼稚園部門として開設されたものであるということ。

ヤング先生は、その最初の責任者として働かれたことが当時の新聞記事に、Miss Youngs Kindergarten とし

Attendance Record from "The Aylmer
Sun, February 4, 1892".

Aylmer Public School.

Attendance for January, 1892 :

	ON ROLL.	AVERAGE.
Mr. Hammond's Room	57	45
Miss Arnold's	39	34
Miss McPherson's	40	34
Miss A. Arnold's	43	36
Miss Martin's	53	43
Miss Inglis	60	48
Miss Knott's	54	44
Miss Wickett's	56	43
Miss Young's Kindergarten	63	43
Total	465	370

Corporal punishments—3.

資料15 Early Education in Aylmer (p.13)

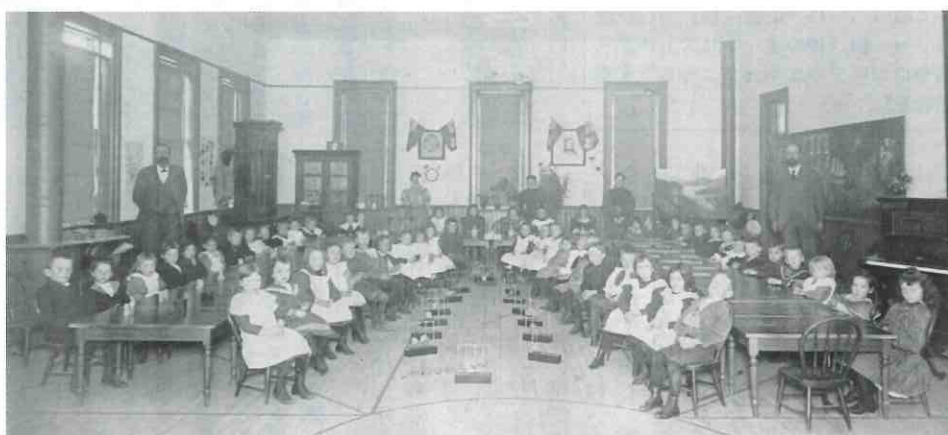
資料A

て出席数が掲載されていることから判明しました。

（資料A）

また、町の博物館資料の中に当時の写真二枚を発見し、その一枚にヤング先生が写っております。（資料B）

（助教授 尾上明子）



資料B 左端McGregor校長 正面左Young先生 1890年～1895年

平成12年度 保護者会委員

会長	渡辺	ミズカ
副会長	荒川	敬子
会計監査委員	越富	圭子
会計監査委員	里野	いつみ
	水野	裕美子
	矢野	弓子
	水田	真子
	山田	幸枝子
	大東	好子
	前池	幸子
	小野	千代子
	牧藤	千鶴子
	加美	由美子
	林真	弓子
	岡津	千津子
	奥村	

秋の学園祭に参加して一緒に楽しみましょう！！
又クリスマス礼拝には違文化に触れ新しい体験をし日頃の学校生活を深く知る機会に致します。

夏空や、内にひめたる
決めし事 ミズカ

保護者会

会長 渡邊ミズカ



街路樹の緑が
一層色濃く
夏空に映えて
います。

しょう。

一年生の方には忙しい日々をお過ごしの方でしよう。四年間で学ぶ事を半分で取得するのですから……頑張ってください。

二年生の方は就職活動も始まりました。厳しい状況下でも就職率が高いと聞いております。実社会で先輩方が築いて下さった実績なのですね。そして何より先生方のご尽力と感謝致します。

この学校に入学する為に多勢の方にお世話になりましたね。学生の皆さんご両親様や母校の先生方にお便りを出しましょう。学生の皆さんの夢が実現しますように！！

マルチメディア教室

講師 松山 田美子

本学では建学の精神に基づいて、優れた保育者を養成することを旨としてカリキュラムを編成しているが、一九九八（平成十）年の教育職員免許法・同施行規則等の改正に伴う保育科本科再課程認定専攻科保育専攻課程認定を受けるためカリキュラム改訂を行い、基礎科目において「情報処理の操作」「英語コミュニケーション」を新設し、二〇〇〇年度入学生より適用している。

「情報処理の操作」では、①情報化社会に生きる社会人として、②保育者として、必要なメディアリテラシーの育成を目標にしている。そこで、イラスト入りの文書作成や表計算といったメディア基礎技能に加え、保護者としての保育者、クラス経営者としての保育者を意識させながら、保育現場における情報活用能力を身につけてもらえるような授業を行っている。

新設された「マルチメディア教室」は、パソコンが35台入っているだけでなく、周辺機器も完備されている。また従来の情報処理教室のイメージにはない広い窓のあるこの教室は「保育科らしい明るさがあり、開放的な気持ちでコンピュータに向かうことができる空間」である。

グループでの課題遂行時だけでなく個人課題の時でも、友達どうしでの教え合いが活発に行われている。授業中は個人がコンピュータで孤独な作業を行うというイメージではなく、学生どうしのコミュニケーションが広がったり深まったりするきっかけにもなっている。



るようである。

学生のほとんどがコンピュータに触るのも初めて、という状態であったが、一人一台で35人編成の授業の中で学習を進めていくなかで苦手を意識を払拭し、それぞれの個性を発揮しながら課題を仕上げていくようである。イラストなどは未来の保育者としてセンスあふれる素晴らしい作品が多く見られ、学生たちの今後がますます期待される。

同窓会に参加して

大木 聖
(昭和51年度卒業)

昨年の春、柳城卒業後23年目に初めて保育資格が活かされ、市内の保育園で0才児クラスのお母さん先生として一年、そして今年の4月からは、我が家の子ども達がお世話になったキリスト教の幼稚園に勤め始めたばかりの新前教師です。

先日参加した愛岐クラブの研修会において柳城豊田幼稚園の関先生にお会いしたこともあり、今回の同窓会「のぞみの会」が初参加の先輩と共に豊橋より、なつかしい柳城短大を訪ねることとなりました。

新校舎の中に「ここが私達の教室、いつも掃除していたトイレ」などと、思い出を探しながら見学し、お世話になった先生方、先輩、久しぶりの同級生との語らい。また諸岡先生のまろやかなオーボエ演奏のコンサートを楽しみ、心も胃袋も満たされ、とても幸せなひとときでした。そして、帰りに立ち寄った聖マタイ教会のチャペルでは、

案内をして下さった土井司祭をつかまえて「まあ、あのワンパク君がりっぱになられて……。」と我が年を自覚しつつも、いつの間にか気持ちは聖歌を歌いつつ折った20才の乙女にタイムスリップしてしまいました。同席された先輩も、それぞれ生きがいのある仕事を持たれ活躍していらつしやる方々で、そして何より心のよりどころとして柳城を慕い集った姉妹でした。今、

毎日朝の祈りから始まり、夕の祈りを持つて一日の保育が終ります。にぎやかで忙しい時間の中でこの祈るひとときが大切な心のよりどころでもあります。私のまわりにいる子ども達が、神さまから託された大切な存在であることを覚え、柳城で学んだ「BY LOVE SERV」で神さまの愛を、子ども達に伝えていけたらと願いつつ、祈りつつ、がんばっていきたいと思います。

足りない所だらけの私をも、神さまは愛し、いつも見守っていて下さる思うと明日の笑顔が生まれます。

附属三好丘聖マリアレット 幼稚園開園

二〇〇〇年四月一日、愛知県三好町桜ヶ丘に本学第四番目の附属が開園しました。

新入園児六十八名とともに、立川浩三園長はじめ七人の教職員が地域の多くの人々の期待を担って保育を進めています。

今回、紙面の都合上詳細をご報告できないことをお許し頂きたいと思う。



就職指導室

一九九九年度就職状況報告

一般社会での不況下、就職状況が厳しい中において本学の就職率は非常に順調であった。

就職委員会では学生の就職活動を支援する為に次の点を強化し指導をした。

○年間指導計画の内容整備・強化
学生達の進路選択について意識を高めるとともに自己の適性にあつた進路決定ができる能力を身につけさせる。また採用試験に対する対策講座、就職手続の方法等の指導を強化した。その結果、学生自身が年間の動きを見通しを持って就職活動を行なう事ができた。

○履歴書様式の改訂
基本的な内容を記入するだ

けではなく、学生が学内で取り組んでいる活動を表現でき、本学の特色が表せるように自己紹介欄に「礼拝」「社会活動参加」「ゼミナール」「実習」を加え内容を整理した。このことにより学生自身がより明確に自己理解を深める事ができ、面接に生かす事ができた。この様に本学独自の就職指導に対して成果を上げる事ができた。

二〇〇一年度学生募集要項

二〇〇一年度保育科及び専攻科（保育専攻科・介護福祉専攻科）の入学試験を左記のとおりを実施いたします。

募集学科・保育科

募集定員一五〇名

○推薦入学試験

出願受付期間

十一月一日～十一月七日

推薦入学試験日

十一月十一日～十二月二日

○一般入学試験

出願受付期間

一月十六日～一月二十五日

一般入学試験日

二月一日・二日

募集専攻・保育専攻 十五名

介護福祉専攻

三十名

○出願受付期間

二月二日～二月九日

○二次入学試験日

二月十七日

募集要項の請求及び入学試験等の問い合わせは教務課までお申し出下さい。

人事

就任

理事長 森 紀旦

日本聖公会
中部教区主教

採用

短大

水山 進吾（特任教授）

安藤 昌子（特任講師）

塚田 一宣（事務局長）

吉田 正（総務課長）

附属幼稚園

水野 弘子（豊田幼教諭）

石野 珠子（三好幼教諭）

南 加奈栄（三好幼教諭）

竹岡 良子（三好幼教諭）

原 忠男（三好幼職員）

異動

附属幼稚園

立川 浩三（三好幼稚園長）

南川 たか子（三好幼主任）

竹内 もと子（三好幼教諭）

池野 綾子（三好幼教諭）

昇任

短大

長根利紀代（助教授）

退職

短大

菊池 伸二（助教授）

初塚真喜子（助教授）

牧岡 恒夫（事務局長）

平成11年度進路状況のまとめ

	本 科	保育専攻	介護専攻	合 計
卒業 者 数	164	10	24	198
就職希望者数	136	9	20	165
就職決定者数	136	9	20	165
私立幼稚園就職者数	59	3	2	64
私立保育園就職者数	52	0	4	56
公立幼保老施等就職者数	14	3	2	19
臨時保育士	3	2	0	5
児童施設就職者数	1	1	0	2
老人施設就職者数	0	0	12	12
一般企業就職者数	7	0	0	7
進 学 者 数	23	1	0	24
そ の 他	5	0	4	9
備 考 (未決定者等)	0	0	0	0